

# 2023 年度 法人事業報告

社会福祉法人落の会 法人本部

## 1. 法人組織・運営の点検と見直し

### 1) 理事長交代

5月理事会で理事長交代が承認され、法人設立から20年間法人を拡大し課題解決に努めてきた岩澤が退任し、後任にふきのとう開設時から携わってきた関が就任しました。皆様のご理解とご協力に感謝します。

### 2) 施設長人事

3月理事会で承認された今までにない大幅な施設長人事は、ぽぷら八王子の引継ぎに時間が必要ということで、関係するふきのとう、ころぽっくるを含め`1年延期、とせざるを得ませんでした。  
今まで施設間交流は、施設長会、研修会、法人新年会（コロナ以前）ぐらいで職員を含めほとんどなかったことを反省し、今後は施設間職員交流を増やし、年単位で計画的に実施するよう努めていきます。

## 2. 各施設運営

### 1) ふきのとう

豊かな日常生活に重きを置くということで、生活介護一本にし、虐待防止委員会の定期的な開催など、生活の質、支援の在り方など日常的に点検しながら日々の生活が豊かになるよう個々人の支援に力を入れてきました。その一方で、高齢化も進み利用率が50%前後になりましたので、今後は若い利用者の入所にも努めていきます。

職員の育成については、資質・スキル向上及び施設間交流・協力体制作りを目的に若手の正規新人職員(男性)の他施設での研修を実施しました。

(2施設：1か月間、2日間)

### 2) ころぽっくる

毎年、利用を開始する小学1年生がお兄さん、お姉さん達との集団生活を通して社会性を育ていけるように努めるというころぽっくるでの放デイ方針は、ご家族にも受け入れられ評価されてきています。

しかし、定員10名で利用率100%をめざしても引越、児相保護、体調不良による欠席等で利用率が大幅に落ち込むこともあり、ころぽっくる単独では事業運営を安定させることは出来ません。これは、法人全体の課題として検討していきます。

### 3) ひのき工房

木工事業部は、新製品開発やイベント出店販売に注力し売上を大幅に伸ばしました。クッキーも評判が良く引き合いに応えきれない状況ですからスタッフ、利用者の増員を検討しています。2階生活介護は、男性利用者の介助について1階職員と連携し日々の生活支援に努めてきました。

リサイクル事業部は、足腰の不調もあり、お助け隊などすべての注文に応えることが難しいこともあります。

新施設に移行したら、まずはその健康維持対策が必要になります。

### 4) とぶきふねん

毎週、職員会議を開き、その時々課題を点検し改善してきた結果、昨年入職したスタッフ、メンバーを含め、スタッフは勿論、メンバーの皆さんも協力し合える体制ができたことは素晴らしいことだと思います。

心配事だった「R6年度競争入札」の件も具体化することなく、今まで通り続けて業務委託をいただくことになりました。

今後は将来に渡って、戸吹不燃物処理センターの業務受託継続を確実なものとするため、作業品質向上の根拠となるデータ作成とその報告、さらには露の会のとぶきふねん(事業所)が常に高い作業品質を維持、向上させ、スタッフもメンバーも強い協力体制で清掃・美化も整理も安全も徹底している、その指針となるルールを作って実施していることを示す「就業マニュアル」を作ってルーチン化することです。

### 5) ぽぷら八王子

最大の課題である型替要員は、ようやく型替えに興味を持ち始めた新人が指導教育のやり方を変えたにも拘らず、また半年で退職してしまいました。そのため、本部で外国人の採用に踏み切り、2名採用しました。言葉の不十分さもありお互いに苦労していますが、定着してもらえよう皆さんの協力をお願いします。コロナやインフルエンザ、入院等、人員不足の中でも皆さんが協力し、最低限の生産を確保したことに感謝します。

今後も型替要員の養成に力を入れ、安定した生産体制を作らねばなりません。

### 3. 新施設の開設準備

当初、ひのき工場のすぐ西側の武田宅で計画しましたが、入口の道路幅 6m 必要との市の条件が満たされず断念。さらに、ひのき工場の畑部分への新築を市に相談したところ、同一敷地に 2 つの施設はできないとのこと。

やむなく、他を探し廻り、ようやく下恩方町(川原宿町会)に適した中古物件を探しあて、市の関係各部門と折衝を続け、境界確定、分筆、雨水処理等の条件をクリアすれば認可の可能性があるとのことでした。町会、住民への説明会(9月)は、反対もなく、皆さんとても好意的で良い雰囲気でした。

庭と畑の高く生い茂った藪をスタッフの協力も得て刈払い、貯め込まれたトラック数台分の片付けに数か月を要し、又、ソフト面の施設開設認可の膨大な申請書類も提出(2月)、3月には電気・ガス・水道等工事が間に合い、ようやく4月1日開所を迎えることができました。開設のためご協力いただいた八王子市の担当部署や三和設計、工事担当の皆様にご感謝申し上げます。又、法人内外でたくさんの方々に開設資金のご寄付をいただきありがとうございました。

### 4. 労働条件の改善

- ① 物価高騰もありますので職員の皆さんの努力に少しでも応えるべく、4月の昇給で平均3%以上の改善をすることが出来ました。
- ② 労働基準法の改定で4月から60時間以上の残業の割増率が50%にアップされることに対応して、露の会としては50時間を超えた残業について割増率を50%とし、50時間以内の残業は25%の割増率で、支給を開始することが出来ました。
- ③ ふきのとう、ころぼっくるでの新人若手職員各1名を正規雇用として登用することが出来、法人全体で、19名(17%)となり、主体となる正規職員の割合を増やすことが出来ました。
- ④ 製造業の人材不足に対応して、1、2月にぼぶら八王子の職員として外国人労働者を2名採用し、ネック工程(型替え)等の負荷の低減を今後進めて行きます。

## 5. 法人本部・施設長会の取り組み

コロナ禍で出来なかった集合教育を再開し、仕組みとして運用できるようになりました。

2023 年度											
安全運転講習	(株)ムラタ 由木講師 各施設送迎運転者の参加 27 名参加										
講師派遣研修	腰痛予防 子亀講師 11 月 24 日(金)PM6:30~8:30 職員 33 名参加 ( ふきのとう 5 名、ひのき工房 11 名、ころぼっくる 2 名、とぶきふねん 7 名、ぽぷら八王子 5 名、本部 3 名 )										
新任職員研修	2 月 7 日、21 日 新入・中途採用職員研修 対象 8 名(ふきのとう 1 名、ひのき工房 4 名、ころぼっくる 1 名、とぶきふねん 2 名)										
	<table border="1"> <tr> <td>1. 蒔の会のあゆみと理念の理解</td> <td>岩澤</td> </tr> <tr> <td>2. 職員としての心構えと資質</td> <td>関</td> </tr> <tr> <td>3. 専門職としての基礎知識の理解</td> <td>秦、渡辺</td> </tr> </table> <p>組織運営(基本規程)/諸規程の理解(法令順守)/ハラスメント防止(規程の理解) 利用者からの苦情処理(規程の理解)/ 会計の知識/ 新人 OJT 研修の位置付け 資格取得について/ 虐待防止(法人仕組み)/ 非常災害時対応(非常災害対策計画)/ 事故発生時の報告対応</p>	1. 蒔の会のあゆみと理念の理解	岩澤	2. 職員としての心構えと資質	関	3. 専門職としての基礎知識の理解	秦、渡辺				
1. 蒔の会のあゆみと理念の理解	岩澤										
2. 職員としての心構えと資質	関										
3. 専門職としての基礎知識の理解	秦、渡辺										
OJT 研修	2 月 22 日 PM6:30~8:00 第 5 回 OJT 研修										
	<table border="1"> <tr> <td>ひのき工房</td> <td>木工機械 マニュアル作成</td> </tr> <tr> <td>とぶきふねん</td> <td>フォークリフトでの搬出作業マニュアル作成</td> </tr> <tr> <td>ふきのとう</td> <td>仕事の流れ</td> </tr> <tr> <td>ころぼっくる</td> <td>会計、現場力</td> </tr> <tr> <td>ぽぷら八王子</td> <td>型替え作業</td> </tr> </table>	ひのき工房	木工機械 マニュアル作成	とぶきふねん	フォークリフトでの搬出作業マニュアル作成	ふきのとう	仕事の流れ	ころぼっくる	会計、現場力	ぽぷら八王子	型替え作業
	ひのき工房	木工機械 マニュアル作成									
	とぶきふねん	フォークリフトでの搬出作業マニュアル作成									
	ふきのとう	仕事の流れ									
ころぼっくる	会計、現場力										
ぽぷら八王子	型替え作業										
振り返り研修 レポート提出	63 名提出 ( ふきのとう 11 名、ひのき工房 15 名、ころぼっくる 20 名、とぶきふねん 7 名、ぽぷら八王子 10 名 )										

## 6. 後援会活動の再開 2023 年 7 月 1 日

コロナのため休止状態が続いていた後援会は、各施設からご家族と職員を選出していただき、新たな役員で活動を再開することが出来ました。ご家族、職員等に各施設の活動を知ってもらうために各施設の事業報告会は事前に予定日をお知らせし、後援会役員も他のご家族も参加できるようにした結果、「こんなにしっかりお仕事をしているとは！」ととても喜ばれたご家族の方もいらっしゃいました。少しずつでも後援会への理解や参加意識が高まることが期待されます。旧役員の皆様には、長年様々なご支援をいただきましてたいへん感謝しております。